

令和6年度 武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付事業報告シート

<p>団 体 名</p>	<p>特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会</p>
<p>アドレス（HP、ツイッター、FB等）</p>	<p>https://mtxa.org/</p>
<p>事業の名称</p>	<p>ハバロフスクでつながった友好 モンゴル “10億本の植樹運動” 参加ツアー</p>
<p>事業の目標</p>	<p>当協会の主たる目的は広く市民に対して社会教育の推進を図り、自然環境保全と国際協力に関する事業を行うことであり、森林などの自然環境の維持・管理について市民への普及啓発に寄与し、自然環境保全（並びに災害救援活動）の推進活動を行うことにある。</p> <p>今回の事業は、その目的に沿って広く市民から植林ボランティアを募り、地球温暖化防止啓発のために現地の自然環境団体と協力をして現地の樹種を植樹する。</p>
<p>事業の内容（概要） いつ、どこで、誰に、何を、どうした</p>	<p>令和6年5月3日（金）～6日（月）にかけて、モンゴル国ウランバートルにおいて、モンゴル国立科学アカデミー植物研究所指定の自然植物園で現地スタッフや大学院生と協力して6年生のモンゴルザクラ100本を植樹し、将来の人的交流事業につながるきっかけを得た。また、テレルジ国立公園にて現地の自然環境を理解するために宿泊体験を実施。遊牧民のゲルを訪問して遊牧民家族との交流も行った。終戦後に抑留者が強制労働させられた石切り場近くでモンゴルザクラの祈念植樹も行った。</p>
<p>事業の成果（参加人数、実施回数、質など具体的に記入。）</p>	<p>参加人数： 12名（うち協会スタッフ3名）、別途空港待機スタッフ1名。 実施回数： 1998年から始めた植林団・植林ボランティアツアーとしては、22回目。</p> <p>コロナ禍や国際問題で活動が制限されていたこともあり、数年ぶりに現地の方々と国際交流を行いながら植樹活動を実施できたことは、大きな喜びであった。苗木100本という数は、いままでの活動に比べると少ない数ではあるが、新しい場所での試験的な実施としては十分であった。</p> <p>大学院生や遊牧民などを含め、現地関係者と密度の濃い親密な交流ができたことは将来へ向けての交流事業の基盤ができた。</p> <p>国際交流を行うにあたっては抑留者関連遺跡など現地における日本関係施設を訪れることも重要とあらためて認識させられた。</p> <p>現地の受け入れ機関や交通事情などを考えると、マイクロバスでの移動と参加人数は適切な選択であった。</p>
<p>目標の達成度（自己評価）</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 1. 達成できた <input type="checkbox"/> 3. あまり達成できなかった <input type="checkbox"/> 2. ある程度達成できた <input type="checkbox"/> 4. 達成できなかった </p>

令和6年度 武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付事業報告シート

<p>自己評価の理由 ※公益性の増進、団体の発展性、実効性、補助金を除く資金調達の達成度などについて、具体的に記入。</p>	<p>公益性の増進：地球環境問題は全人類の課題である。モンゴルにおいて10億本の植樹を目標に実施している企画に参加し、日本の市民一人ひとりにも環境問題を考えるきっかけや国際交流の重要性に気づいて貰える事業を展開し、その一端を担えた。</p> <p>団体の発展性：コロナ禍やロシアの国際問題で停滞していた当協会の活動を、その関係国であるモンゴルにて5年ぶりに実施することができ、パートナーとなる現地環境団体や日本国内のその関連団体ともつながり、今後の活動にはずみがあった。</p> <p>実効性：日本と現地のコーディネータのおかげもあり、現地環境団体との協力が得られて、日程的にも現場の段取りもスムーズに予算通りの事業が実施できた。</p> <p>資金調達：参加者による負担が大きかったため、重要検討課題となった。</p>
<p>今後の課題・抱負</p>	<p>今回は、企画の立案時期の関係で市報における広報が間に合わなかったため、次回は間に合うようにする。また参加者アンケートにて参加費が高いという声があったので、参加者負担が少なくなるようにクラウドファンディング等にての資金集めを検討する。現地の環境団体とのつながりが出来たので、今後も継続して同様の事業を現地の市民にも呼び掛けて実施し、「木を植えよう」という気持ちを育てていきたい。</p>

活動状況について



自然植物園での植樹後、国立科学アカデミー植物研究所の皆さんと



「10億本植樹運動」参加の証明書



自然植物園での植樹活動の様子



遊牧民の方の住居のゲルを訪問して交流

令和6年度 武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付事業報告シート